

11月は「歯と口腔」の推進月間です

〜本町の子どもたちの現状について〜

11月8日の「いい歯のロ」にちなみ、鳥取県では11月を「歯と口腔の推進月間」と定めて、予防する意識を高めるよう普及・啓発しています。

今月号では、パート1として、子どもたちの現状を伝えます。

大切な子どもたちを

むし歯から守ろう！

平成30年度の1歳6か月児健診と3歳児健診における歯科健診の結果です。(グラフ参照)

本町の子どもたちは、毎年むし歯がある子が多く、残念ながら鳥取県内で一番悪い結果(最下位)が続いています。

本来であれば、1歳6か月児健診は、歯が生えてから間もない時期の健診であるため、むし歯がないのがあたり前なのですが、なぜか本町の子どもたちはグラフでもわかるよ

うに、とても悪い状態の子がいます。

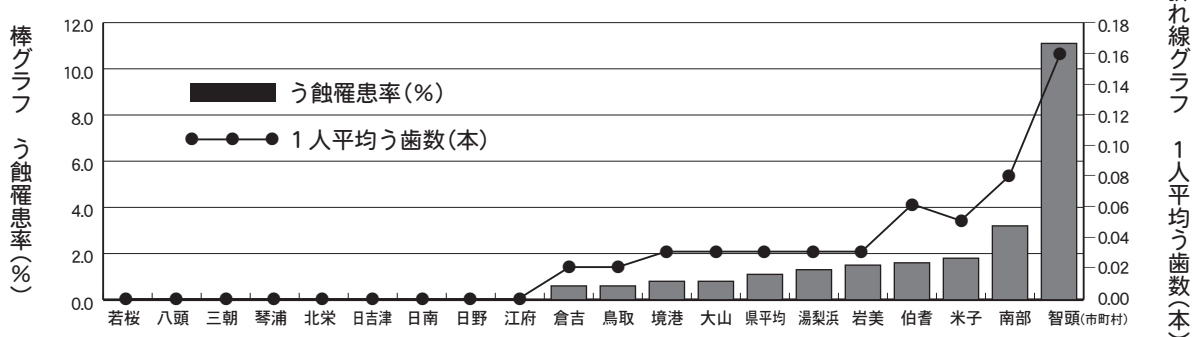
一人でもむし歯がある子がいれば、結果が悪くなります。しかもその1人の子どもが数本のおし歯を持っています。これはとても悲しいことです。

「子どものおし歯は生えかわるからむし歯になっても大丈夫。」
「大人が口をつけたお箸(はし)を使って、子どもに食事を与えても大丈夫。」
「なごい、間違った考えを改めて、何とか家族みんなで、正しい知識を身に付け、おし歯を予防していきましょう!!」

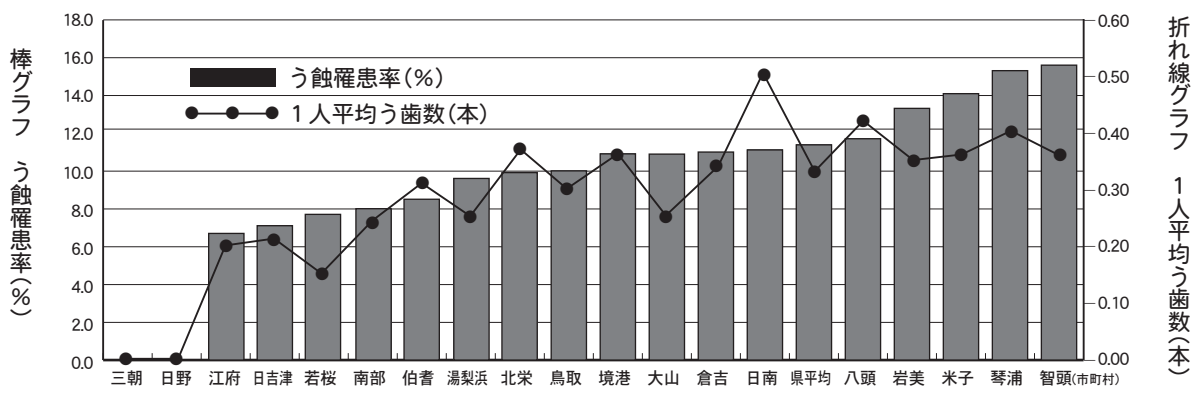
今回は、パート2として、むし歯予防対策を紹介します。



H30 1歳6か月児むし歯状況



H30 3歳児むし歯状況



問合せ先 保健センター福祉課 保健師 ☎ 75-4101